

野毛山幼稚園 第1回 保育講演会



日時 2017年6月9日(金)
場所 野毛山キリストの教会礼拝堂
テーマ 「子育ての愉しみ方・・・ここにもアクティブ・ラーニングが潜んでいる」
～ほのぼのコンサート&お話～
講師 元 横浜市内小学校校長
造形を盛り上げる会 会長 ささき たかし先生

第1回 保育講演会

テーマ 「子育ての愉しみ方・・・ここにもアクティブ・ラーニングが潜んでいる」
～ほのぼのコンサート&お話～

講師 元 横浜市内小学校校長
造形を盛り上げる会 会長 ささき たかし先生

2017年6月9日(金) / 参加者 70名

ささき たかし先生とほのぼのコンサートの紹介

北海道生まれ。2004年に横浜市立小学校を退職。現在は、自然素材や身近な材料を用いて学びを創る「f f ; つちのこ」の代表として、子どもからおとなまでの造形講座を開催。版画家河西万文に師事。この度のコンサートの機会となった版画絵本「ぼくらはみんな生きている」、木版画集「ふるさとへ そして ふるさとへ」等を出版。娘がデザインした「ねこちゃん」を版画にし、子年の賀状にしたところ、出版社の稲葉省三氏から勧められ、動物と詩文を加えて版画絵本に。出来た絵本を昆野氏に贈ったところ、作曲と歌に。小野氏が紡いで作曲とピアノに。不思議な導きのもとに、この度のコンサートが開催されました。」

～ほのぼのコンサート～

作詞；ささきたかし 作曲・歌；昆野七映 作曲・ピアノ；小野綾子

♪うれしくってさ！たのしくってさ！だって・・・今 生きてるんだもん！♪

の楽しい詩に合わせた音楽とともに登場したささき先生。

版画絵本と詩が映像に映しだされ、昆野先生と小野先生による歌声と演奏を聴き、お話が始まりました。

その中から特に印象に残った詩・曲♪をご紹介します。

【ヒューマンデザインへの足掛かりを・・・】

♪たまには会ってみなよかけがえのない 自分という 自分にさ！♪

“たまには会おうね たまちゃん”

【子どもの素晴らしさをひもとく・・・】

♪まんまるお目目は好奇心のはじまり

ものまねしぐさは智慧の始まり♪

“きょうもきよろきよろおさるさん”

子どもは明日が好き！子どもは昨日できなかったことが、今日できるようになるかも…。

子ども時代にたくさんの「なる」を体験させてあげよう。

【出会いと素晴らしさとよい関係を・・・】

♪ハンガーと洋服 ハサミと紙 あなたとわたし

どんなものにも つながりはある♪

“手をつなごう！テナガザル”

ハンガーと洋服 ハサミと紙 あなたとわたし どんなものにも つながりはある。

出会いは消しゴムでは消せないが、自分と未来は創れる。

職場や家族、仲間と良い関係であるには、たった一つの言葉に絞ることができる。「敬意」。
1%のいいところを見つけて相手に感謝をし、敬意を払うことでいい関係を保つことができる。

【氣負い、意気込みは長続きしない・・・】

♪『辛い』『幸せ』って似てるよね

少し前向きに 少し弾んで 少し輝いて さ
みんな幸せになろう ね！♪

“幸せ 招きねこちゃん”

自然の成り行きで仕方ないことが人生にはたくさんある。悪いことの後にはいいことが必ずある。気持ちを切り替えて前に進むことが大事。

☆生き方ヒント

「辛い」「幸せ」漢字1画でこんなに違う。

少しずつ少しずつ・・・

忙しい時は、ほんの少しの時間、空を見上げてみたり、雨の雫が窓をつたう様子を見たり・・・
ちょっと前向きになれるかも…。

ペーパーだけが勉強ではなく、学びは他にある。自ら探す。

周りにあるたくさんの不思議に気づくこと。親は子どもに援助をし、やがてできるようになる。
お母さんは子どもの話を聞くだけで子どもは安心し、落ち着いていく。

本気
本気ですれば
大抵のことができる
本気ですれば 何でもおもしろい
本気でしていると
誰かが助けてくれる



クイが残る人生だつて
大丈夫！
みんな 食べて あげるよ



文責 広報委員あやめ組
石橋 栄 植竹 愛 田中 杏子
辻 弘美 西 朱子 則久 直子
林 晶子

あやめ赤 植竹愛

先生の詩と、かわいい版画と、素敵な曲と歌声・・・。ダジャレがたくさん盛り込まれていて思わず笑ってしまうのですが、どれもこれも子育てのヒントをたくさん教えてくれるものでした。手探り状態の子育てでイライラしてしまうこともあります。玄関を出るときにジャンプしたり、空を見上げたり、前向きに愉しんでいこうと思いました。”待つことが平気な麒麟さん”をお手本にしたいと思います。ありがとうございました。

あやめ赤 太刀鉾夏子

ほのぼのした絵と言葉と音楽に癒されました。ささき先生に教えて頂いた、子供が何を言っているかではなくその裏にある言いたい思いを読み取れる親を目指して日々の生活を送っていきたいと思いました。ありがとうございました。

日々の子育ては雑事に追われ、愉しむ余裕はないし、最近よく耳にするアクティブ・ラーニングなんて先の話では？と思っていましたが、優しい歌声と軽快なピアノ演奏と共に、佐々木先生の面白いエピソードやユーモア交えた子育てや人生を愉しむための多くのヒントを頂き、充実した時間を過ごすことができました。日々の暮らしの中で、子どもの意欲や興味・関心を引き出せるような問いかけや不思議探しをすることで、家庭でもアクティブ・ラーニングが実践できそうです。人間形成の基礎になる力を身につけるこの大切な時期に、子どものファンタスティックでワンダフルな世界を一緒に楽しみながら、学びの芽生えを育てていけたらと思います。

今日の講演会をきかせて頂き、子育てには、待つことや優しい気持ちを持ち、長い目で見守ってあげることが大切だとあらためて教えて頂きました。今日感じた気持ちを心に留めつつ、これから子どもたちと楽しんで過ごしていけたらと思います。このような機会を与えて下さりありがとうございました。

卒園生 小島 淳子

子どもの好奇心やファンタスティックな世界を引き出しながら、正解のない問いかけに対して自由な発想で自分らしい答えを導き出していく。その答えには無限の可能性や広がりがある…まさにアクティブラーニング！な会話をもっともっと楽しみたいという気持ちになりました。なんともかわいらしい表情の動物の版画と素敵な歌とピアノの演奏のコラボレーションによって、佐々木先生のメッセージが、さらに生き生きと、私たちの心に響きました。素晴らしいひとときをありがとうございました。

少しだけ離れて上の子がいますので、久しぶりの講演会でした。今までの講演会で毎回色々な気持ちにさせられ、時には涙が予想外に溢れ出る事が何度もありましたので、「マスカラは付けずに」を心に置いて参加したのですが、今回は泣くよりも笑わせていただきました。Eテレの特別番組を生で観させていただいているみたい！という雰囲気、これなら親だけでなく子どもも連れて楽しめたかったなあとも思いました。耳もととても楽しかったです。

個人的には、カモメの音楽が先生達イチオシのアリクイをダントツに抜いて素敵な音でした！（２種類あったと思いますが特に２番目？後半？が、ピアノの音の行き来？がすごくて、それに合わせた歌の音も素敵で心地よかったです！

（音楽用語がわからず変な表現かも知れませんが、ごめんなさい）
つちのこ先生の言葉の中で一生忘れたくないと思ったのは「凶鑑のコスモスは風に揺れていない」です。インターネットが人に浸潤している今日、ナマモノを感じるチャンスは減っています。知識だけではなく、色んな物が、とても便利に遠回りな情報として手に入ります。それはわかっているのですが、便利さに負けつつ過ごしていますので、もう一度思い返すにはびっくりする衝撃的な台詞となりました。タイムカプセルに家訓を書くのなら、今の私にはそれ以上の言葉はありません。

さくら赤 若狭 沙里

今回佐々木先生が、教えていた家訓が孫にまで伝わっていると言うことをお伺いして、例えば子供が親元を離れても言葉はずっと、生き続けるのだと実感しました。家では、家訓はありませんが、自分の家、独自の守るべきものがあれば、是非、伝えていきたいと思いました。

つくし赤 納谷 多恵

リズムカルで印象的なメロディーと動物たちの特徴をとらえた詞は、今でも耳と頭に残っています。わが子はどの動物タイプかな…と考えながら聞いていると、「わが子はわが子、他人と比べなくて良い」という当たり前だけど忘れがちなことあらためて思い出させてくれました。次回は子どもたちも一緒に参加できたら嬉しいです。楽しい時間を本当に有難うございました。

つくし赤、さくら白 横山 礼

日々育児をするなかでここにこする、心穏やかでいることが子どもたちへの何よりの栄養であること。それをいつも忘れてなんとなく毎日を過ごしています。

ささき先生のお話の中で一番印象的だったのは「どんなことにもリズムがあるということ」ジャムパンが落ちるときジャムの塗った側が床に落ちる。それにもリズムがある。そういうリズムであるということ。とにかく、はっとさせられました。

子どもがパンを落としたら「何やってるの！！」とカリカリしたリズムで毎度言ってしまいその後必ず大したことないことで叱ってしまった自分にどんよりのリズム。そんなことの繰り返しだったのが先生のお話で本当に救われました。 昆野さんと小野さんの歌と演奏もほのぼのした世界観がとても素敵でした。 動物の名前をかけた歌詞。とてもわかりやすく心に響きました。お猿さんの「まんまる お目目は好奇心のはじまり」

子どもたちの好奇心にしっかり目を向けて大切にしたい！そしてどんなことにも好奇心をもって欲しいと思いました。 そんな機会をいただき本当にありがとうございました。

あやめ白 高尾 瑞絵

今回の保育講演会は、珍しく同席していた次男がおとなしく音楽を聴き、途中からはグッスリ寝てくれたので、最前列の席でじっくりと楽しませてもらえました。

私より年配であるつちのこ先生がキラキラした目でイキイキとお話くださる様子や、可愛い版画面の動物たちと短いダジャレに込められたわかりやすいメッセージ、昆野先生の穏やかな癒しの歌声、小野先生の素晴らしい演奏を真近で拝聴し、日頃イライラしてばかりのトゲトゲした心が、少し丸くなったような幸せな時間をいただきました。

いつも怒ってばかりの自分を反省するのに、結局また怒ってばかり…の繰り返しの毎日ですが、つちのこ先生の本をその都度開くようにして、描かれている可愛い動物たちとメッセージを見ながら、子育てを愉しむことを忘れないようにしたいと思いました。

さくら白 菅野美嘉

とても素敵な版画絵本の中で、今日もきよろきよろおさるさんを我が子と重ねていました。子どもたちの、なんで？どうして？という問いかけに、答えにくい質問には、小学1年の娘には自分で考えなさい、年少の娘にはなんでだろうね。と言葉を濁していた事を今回深く反省しました。子どもたちの好奇心や不思議に思ったことに、もっと大切に向き合って、一緒に考えて、一緒に楽しんでいきたいと感じました。

今回講演会と聞いて緊張して伺ったのですが、昆野先生の心のこもった美声と、小野先生の美しいピアノの音色に心がどンドンほぐされていくのを感じました。

難しい講義を必死にメモするより、ダイレクトに心の奥に届き記憶に残ったと思います。一緒に歌った『たまには会ってみなよ～かけがえのない～自分と言う自分にね♪』家事をしているとき等に蘇って来ていつの間にか唄っています。歌の力って、凄いですね！！個人的に、歌を本格的に習ってみたいと思ってしまいました。

子供に質問されると、つい科学的に正しく答えなきゃと、図鑑を調べてしまっていたのですが、お話を作って答えたっていい、子供はファンタスティックな物語をまだまだ必要としているんですよ。感動したら共有したくなる、というのは、大人の世界も同じで、自分の信じる事、教育を本気で楽しんでやっていっちゃったツチノコ先生だからこそ、実体験がブログ発信されて本になったり、版画イラストが今回のように素敵な曲になったり、感動が大勢に伝播していくのを地で体現してらっしゃるなあと感動致しました。

素晴らしい教訓を数多くいただいたのですが、中でも『うさぎは大砲では打てない』子供に大義をぶつけすぎて、子供を壊さないように、というお言葉が、一番心に残りました。

つくし赤 岩瀬 菜穂美

素晴らしいピアノと歌声にのせて、かわいい動物達が日常流してしまっている大切な事を教えてくれました。つちのこ先生の短い詩の中には子育てであったり、生きて行く為のヒントがたくさん詰まっていた。丸く大きなキラキラした目で子供が何かを伝えているのを見逃していないだろうか。マネをされても恥ずかしくない行動ができているだろうか。子どもがスクスク健やかに自信を持って未来に進む為に私に何ができるのか…なんて事を考え聞いていたはずなのに、いつの間にか先生の言葉と版画に見入ってしまい、ただただ楽しい時間を過ごしていました。最後、カモメの「風をつかめ 風にのれ！そして 明日に向かって 飛べ 飛べ！」の詩に、まだ見たくない卒園の2文字がちらつき、涙を堪えるのに必死でした。

娘が次のステージへ大きくはばたけるように残りの幼稚園生活でたくさんファンタスティックを見つけ、一緒に楽しみたいと思います。

またいつか、つちのこ先生にお会いできますように。

あやめ白 藤野 恵子

今回の講演会は、温かく和んだ雰囲気の中、佐々木先生の詩が昆野さんの美しい歌声と小野さんの奏でるピアノにのって私の中に心地よく入ってきて、とても楽しく過ごすことができました。動物達の特性を生かした佐々木先生の詩は、ほのぼのとしながらも、深いメッセージが込められており、沢山の気づきを与えていただきました。特に「聴くことは、おもいやりのほじまり。」の言葉には、普段忙しさを理由に子どもの声に耳を傾けていない私は反省するばかり。。。もっと自分の手を止め、子どもと寄り添った日常を送ることを心掛けていこうと思いました。また、自分から学びを作っていく「active learning」の大切さも教わりました。図鑑の中のコスモスは揺れていないように、子どもたちがテレビや本だけでなく自然の中で体験しながら学んでいく必要性を強く感じました。子育てに行き詰まった時には、この日のコンサートや佐々木先生の詩を思い出し、やる気スイッチをオンにしたいと思います。今回いただきましたご縁に心から感謝いたします。ありがとうございました。

卒園生 伴 慶子

生きて子どもを授かり、子育てができる毎日をありがたく思います。うれしくたのしいばかりでなく、自己嫌悪に陥ることも多々ありますが、ささき先生のお話によると「子どもは明日が好き」「聴くことは思いやり」「人といい関係でいるために大切なたったひとつのこと＝敬意」なるほど日常をよりファンタスティックに楽しめそうな魔法の言葉がちりばめられており、自分にも何かできる明日を考えるきっかけをいただくことができました。また、コンサートは、ささき先生のメッセージのイメージをふくらませながら非日常を味わえるファンタスティックなひとときでした。

さくら赤 松本 亜由美

今回初めて、保育講演会に参加させていただきました。ほのぼのコンサート、アクティブ・ラーニングとはどういった感じになるのかなど、思っていました。いざ始まるとピアノの明るいろづみに面白い詩、弾んだ歌で、思わず聞き入っていました。途中何度か下の子がぐずり、中座もしたりしましたが、時に参加したり、楽しく拝聴させていただきました。そして、絵を見ながら、歌を聞き、解説を聞いていくうちに、うんうん、そうどうなずくものばかりで、子どもや物事に対する気づきを再認識させていただきました。日に日に成長していく子どもの姿に嬉しく感じつつも、あまり子どもと向き合う時間を持っていないことをこれからは改めていき、子どもの今を大切に、共に成長していけたらと思いました。

つくし赤 井ノ口 志津

校長先生を退職された後も、各所で造形活動をされながら、多くのこどもやおとな達との触れ合いを大切にされているうちのこ先生。そんな先生から生まれる詩は、ちょっと立ち止まっている人の背中を、優しく、ポンっと押してくれるような温かさに満ちたものばかりでした。今回は、歌あり、ピアノありと、コンサート仕立ての講演会。ところどころ、私達も参加させて頂いたり、楽しいひとときとなりました。このような素敵な時間を皆んなで共有できたことに感謝いたします。

あやめ白 西山 友紀

佐々木先生の版画、詩文は素敵な作品ばかりで、つついクスッと笑ってしまいます。心に残るものばかりです！昆野先生の素敵な歌声、そして小野先生のピアノ演奏にくぎづけになってしまいました！今回ほのぼのコンサートに出席させて頂き楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。子育てをつつい流れ作業的な感じでしたが、これからは子育てをもっと楽しんで1日1日を大切に子供と接して過ごしていきたいと思えます。

あやめ赤 西 朱子

先生は大人でありながら子供と同じ目線や考え方をお持ちで、いつも周りがある不思議、自然の恵みを感じとっているようでした。アクティブラーニングは、実は身近に潜んでいることは発見でした。学びとは自分の気づき次第で日常が学びに変わるんですね。子供の目線や気持ちに寄り添うことが大人もできたら、親子でアクティブラーニングになるのでしょうか。先生とのゆったりした時間は私の心にゆとりをくれました。参加できて良かったです。ありがとうございました。

さくら赤 多和田 哉子

『うれしくってさ！たのしくってさ！だって…今生きているんだもん』楽しいリズムに合わせて始まった講演会。全19曲が紹介され、どれも短い曲ではありますが心に入り込んでくるモノばかりでした。また、同じ歌詞でありながらリズムが違うだけで感じ方が変わり、不思議な感覚にもなりました。「Fantastic」という言葉の持つ魅力的な部分を子供達から引き出す為に、すぐに答えを出すのではなく、夢や希望に満ち溢れている子供達に何かきっかけを与えてあげられるように、快い環境を作ってあげる事が大切だという事に気付かされました。日々、時間に追われがちですが少しでも自分自身に余裕を持ち子供達との豊かな時間が過ぎる様、心掛けていきたいと思えます。

つくし白 沼尻 紀子

楽しい歌声と、素敵なピアノの演奏から始まった講演会。これから何が始まるのだろうとワクワクしました。つちのこ先生の絵本に出てくる動物達のお顔に癒され、それぞれの特性に重ねた言葉のメッセージ一つ一つにヒューマンデザインのヒントを頂きました。当たり前のように繋いでいた手も、これからは繋がってる喜びを感じながら、こどもと一緒にちょっと先の未来にワクワクできるような時間を過ごせたら素敵だなと思えます。優しさ溢れる笑顔とユーモアの混ざったお話に心が温かくなり勇気づけられました。ありがとうございました。

あやめ白 沼田 尚子

ささき先生の穏やかでユーモアのある語りかけ、昆野先生のメッセージのある優しい歌声、小野先生の美しく華やかなピアノの音色…笑ったり歌ったり、とても豊かな時間を過ごす事ができました。有難うございました。今後、学習方針が変わると言われている中、親としてどのようにしていけば良いのか少し戸惑いを感じる事もありましたが、ささき先生のお話を伺い、背伸びせず今だから出来る事、今しか楽しめない事を娘と一緒に共感していけばいいのかな…と思えました。ささき先生の絵本は私にとっては優しさで癒しのメッセージ、娘は今はまだ絵を楽しむだけかもしれませんが、今後このメッセージが力を与えてくれたり版画の温かさや味わい、様々な事を感じ取ってくれるのだろうと思っています。

あやめ白 綾部由紀子

楽しく前向きな気持ちにさせてくれる詩文と心温まるお話、そして素敵な歌声とピアノの演奏に、とても癒され素敵な時間を過ごす事が出来ました。日々、目の前の事に追われ慌ただしく過ごしてしまっておりませんが、子供と密接に関わる事が出来るこの時期をもっと大切に思い、なるべく愉しみながら丁寧に過ごしていきたいと思えました。また、子供の好奇心に寄り添う事の大切さを改めて感じ、なるべく沢山の本物体験をさせてあげたいと思えました。ありがとうございました。

あやめ赤 森本やよい

冗談がお好きで、優しい笑顔が印象的なつちのこ先生。子育てを愉しむためのたくさんの方のメッセージは、とても楽しく共感出来ました。「仲良しになれる魔法の言葉“ごめんなさい”」「出会いは消しゴムでは消せない」喧嘩をしていた子供達は「ごめんね」の一言ですぐに仲直りできます。大人も出会いを大切に、いつでも感謝の気持ちを忘れず、敬意を込めて過ごせるよう心掛けていきたいです。明日(未来)が大好きな子供達のように、わくわくドキドキ子育て(未来)を愉しみたい！と改めて思いました。

あやめ赤 松浦佳奈子

シャレのきいたメッセージと素敵な版画に素敵な音楽と歌声、ほのぼのした時を過ごす事ができました。ありがとうございました。先生のお話にあった「子供は未来が好き」昨日知らなかったことが今日知れた、今日できなかったことが明日はできるかもしれない…本当にその通り、息子は毎日楽しそうです。私は毎日子供たちが無事に過ごすことに一生懸命ですが、少し余裕をもって日々を共に楽しく大切に過ごしていこうと改めて思いました。